

第11回全国和牛能力共進会で鳥取県が団体総合第5位を獲得

日野郡の出品牛も好成績に貢献



第11回全国和牛能力共進会宮城大会審査会場

1 鳥取県チームの成績

第11回全国和牛能力共進会（全共）宮城大会が、平成29年10月7日～11日に仙台市夢メッセ宮城特設会場で開催されました。今回、第7区（代表種雄牛の種牛と枝肉の総合評価）において枝肉（肉質・肉量）が全国1位を獲得し、種牛群も5位、総合で全国2位に輝きました。また、鳥取県チーム全体としても出品団体順位は第5位と近年では最高の順位を獲得しました。



7区種牛と肉牛出品者



▲7区全国1位を獲得した枝肉

トピックス

全国和牛能力共進会と鳥取県の畜産振興

「和牛のオリンピック」とも呼ばれ、5年に一度全国の優秀な和牛を集めて和牛改良の成果を競う大会です。ここで優秀な成績を取ると、産地のブランド力が上がり大きな経済効果が生まれます。

鳥取県の和牛は、第1～6回大会までは常に上位に入る輝かしい成績をあげてきましたが、その後は低迷していました。そこで鳥取県では、和牛王国復活のため、農家の協力の下、肉質の優秀な雌牛を導入し、肉質改良を進めました。

近年その成果が現れて、肉質全国トップクラスの「百合白清2」^{はなしろ}、「白鵬85の3」^{はくろう}など優秀な種雄牛の造成に成功し、全国屈指の評価を得るようになりました。



3 日野郡出場牛への

日野振興センターの支援

日野振興センターでは、全共での上位入賞を目指して、本年4月から日野農業改良普及所の畜産担当普及員を中心に、出場牛の栄養と発育管理を考えた給餌指導、牛体の引き締めや、綱の引き手の指示に従うよう牛の調教を兼ねた引き綱運動の補助などを行いました。また、全共会場にも全日程同行し、高い評価が得られるよう審査本番に向けて最終的な牛の手入れや仕上げを支援しました。



出場牛の運動・調教支援

4 日野郡で和牛飼育を

希望される方々へ

全共後初めての10月19日の子牛セリ市場には、全国から多くの買い手が集まり、雌子牛の平均価格が8万8千円、去勢子牛が7万5千円と良好な価格で取引され、全共の効果が現れました。今回の宮城全共で花開いた成果が、さらなる畜産振興につながることに期待されます。日野振興センターでは、和牛飼育を開始したい方、増頭をしたい方などに対し、相談や技術改善等の支援をいたします。どうぞお気軽にご相談ください。

2 日野郡の出品牛も

鳥取県チームの好成績に貢献

日野郡からも種牛の部に2頭が出場し好成績をあげました。第2区（若雌・活躍が期待される未出産の雌牛）に日南町の西村利史氏の「さつき2」が出場し、優等賞9席を獲得しました。

第5区（繁殖雌牛群・3産以上している現在活躍中の雌牛）には、江府町の越峠嘉道氏が自ら愛牛「ゆりさかえ」を率いて出場し、優等賞8席と特別賞（乳徴賞）を獲得しました。



2区 優等賞9席「さつき2」と西村氏（向かって右端）



5区 特別賞パレードでの「ゆりさかえ」と越峠氏

なお、「さつき2」については、同じ日南町内で和牛飼育を行っている若手の石橋弘充氏が綱を引いて出場しました。



2区 「さつき2」を率いて入場する石橋氏

問

日野振興局 日野農業改良普及所
電話：0855917212027
FAX：0855917212090

